

令和 4年度予算見積調書

課室名：消防課
 担当名：消防広域担当
 内線：8171

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B8	埼玉県特別機動援助隊教育訓練等事業費			一般会計	総務費	防災費	消防防災費	埼玉県特別機動援助隊訓練費	
事業期間	平成18年度～ 令和 7年度	根拠法令	消防組織法第29、30、43条			針路	01 災害・危機に強い埼玉の構築	SDGsゴール	11
					分野施策	0101 危機管理・防災体制の再構築		SDGsターゲット	11-1, 11-2, 11-3, 11-4
1 事業概要			5 事業説明						
大規模な災害発生時に県民の生命を守るため、平成18年7月発足の埼玉県特別機動援助隊(埼玉SMART)及び緊急消防援助隊の効率的な運用を図る。実災害における救出・救助の連携強化のため、絶えず訓練を行う必要がある。 (1) 埼玉県特別機動援助隊教育訓練事業 474千円 (2) 埼玉県特別機動援助隊出動経費負担金 289千円 (3) 緊急消防援助隊訓練への参加等 160千円 (4) 緊急消防援助隊活動支援費 360千円 (5) 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練の開催 8,016千円			(1) 事業内容 ア 埼玉県特別機動援助隊教育訓練事業 474千円 技術向上、連携強化を図るため、研修・訓練を実施する。 イ 埼玉県特別機動援助隊の出動経費を負担する。 289千円 ウ 緊急消防援助隊の訓練に参加する。また、緊急消防援助隊出場時に検証を行う。 160千円 エ 緊急消防援助隊埼玉県大隊に対する後方支援体制の充実を図るため、物品等を提供する。 360千円 オ 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練の実施を行う。 8,016千円 (2) 事業計画 技術向上、連携強化を図るために研修及び訓練を実施する。 物品等の購入・配備等を実施する。 (3) 事業効果 県内外の大規模災害等への地域防災力の強化が図られる。 平成29年度 SMART基礎研修6回・応用研修1回・合同訓練1回・情報伝達訓練2回 研修・訓練の参加者873人 平成30年度 SMART基礎研修6回・応用研修1回・合同訓練1回・情報伝達訓練1回 研修・訓練の参加者1,000人 令和元年度 SMART基礎研修3回・応用研修1回・合同訓練1回・情報伝達訓練1回 研修・訓練の参加者856人 令和2年度 SMART基礎研修2回・DMAT参集訓練1回・情報伝達訓練1回 研修・訓練の参加者224人 令和3年度 SMART基礎研修2回・DMAT隊ホイススト降下訓練2回・情報伝達訓練1回 合同訓練1回 訓練の参加者380人 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 平成28年度からSMART合同訓練では看護学生が要救助者役として参加している。また、訓練参加協力団体から訓練用事故車両の提供を受けた。 (5) その他(前年からの変更点) 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練を本県で開催することに伴う増(7,257千円) 埼玉県特別機動援助隊合同訓練を開催しないに伴う委託料の減(△7,663千円)						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×9.2人=87,400千円									
			財 源 内 訳					一般財源	前年との 対比
予算額	9,299							9,299	△1,033
前年額	10,332							10,332	